

令和8(2026)年

2月 広報

あしや

1031号



高浜町区 餅つき



町長所信表明

芦屋町長 貝掛 俊之

12月の芦屋町議会定例会で貝掛町長が所信表明を行いました。所信表明とは、今後のまちづくりの方針などを示すものです。以下にその内容を紹介します。

このたび、多くの町民の皆さまをはじめ、各方面からの温かいご支援、ご厚情を賜り、第36代芦屋町長に就任しました。

平成19年4月に芦屋町議会議員に初当選し、議員として、また

故郷を愛する町民の一人として、芦屋町の住民福祉の向上のため、邁進してまいりました。

めまぐるしく状況が変化する日本社会ですが、今後は執行機関の長として、芦屋町の発展に全力で取り組んでまいります。

特に今は物価高騰や豪雨災害などから町民の皆さまの生活をしっかりと守っていく必要があると考えております。

また、芦屋町の限られた土地の有効活用や海など芦屋町の豊かな資源を生かして町をもう一步前進させたいと考えております。

私は、「故郷創生の3本柱」を、マニフェストとして掲げさせていただきました。

1 「安心と誇りを、未来へつなぐ芦屋町」

町民の皆さまの暮らしを守り、芦屋町を一步前進させてまいります。

2 「国と県と連携し、未来をつくる芦屋町」

未来を創る芦屋町の事業を国、県としっかりと連携し、力強く推進してまいります。

3 「財源なくして安心(福祉)なし。財源確保による、未来ゆたかな芦屋町」

ボートレース芦屋の振興などにより、未来を見据え、しっかりと財源確保をしてまいります。

これらの「故郷創生」の3本柱を実現するための具体的な施策の主な内容を説明いたします。

など多種多様な支援策、補助事業を進めてまいりました。

全国でもトップクラスといえるこれらの政策を継続、改善し、あるいは新たな政策で、町民の皆さまの暮らしを守り、皆さまとともに満足できる政策の実現に取り組んでまいります。

② 「災害から守る」

令和7年8月の九州北部豪雨で災害が発生した場所を検証し、改善に取り組むとともに、山鹿地区の冠水対策を図るため、排水ポンプの能力向上を福岡県や国に強く働きかけてまいります。また、日頃から防災・減災に取り組むため、防災専門部署の設置を検討してまいります。

③ 「産業を守る」

商工業、農業、漁業者が持続可能な発展していくため、プレミアム商品券の発行や有害鳥獣対策などに取り組んでまいります。

④ 「子どもたちを守る」

酷暑対策として、小中学校体育館へのエアコン設置に取り組んでまいります。

・「芦屋町を一步前に」

①「子どもから大人まで安心して集える居場所づくり」

子どもから高齢者まで全ての町民が利用できる入浴施設の建設などを目指し、検討してまいります。

②「土地の有効活用で成長戦略」

将来の定住促進や新しい産業の誘致に繋げていくため、高浜町営住宅や中央病院の跡地などの活用を検討してまいります。

③「海を生かした町づくり」

令和8年度、芦屋港にボートパークと魚釣施設の開業を予定しております。海の魅力を最大限に生かした芦屋港のレジャー港化を、これまでの取り組みと成果を踏まえ、一步前に進め、観光振興と交流人口の増加を図るとともに、町外からの来訪者だけでなく、町民の皆さんにも楽しんでいただける港づくりを目指してまいります。

④「芦屋基地との連携強化」

我が国を守り、全国から集まる自衛官の皆さまとさらなる連携強

化を図り、地域力を前進させてまいります。

これらにつきましては、選挙を通じて町民の皆さまと交わした約束でございますので、行政内部で十分協議を行つたうえで、町の実施計画に位置づけて推進したいと考えております。



△所信表明の一部を抜粋して紹介しています。全文は町ホームページを見てください。

最後に、私が描く未来は、町民の皆さまが「芦屋に住んでいて良かった」と心から感じ、誇りを持てる町でございます。「住んでいて良かった」と思えるのはどのような町の姿なのか、町民の皆さまの声を聞かせていただきながら、現在、住んでいる皆さま、移住して来られた皆さま、そして、これから生まれてくる子どもたちが生涯にわたり、安心して住み続けられる町を目指して取り組んでまいります。

そのため、4年間しっかりと仕事をさせていただき決意でございます。何とぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私の所信とさせていただきます。

生活応援商品券発行事業

住民1人につき1万5000円の商品券



物価高騰によってさまざまな影響を受けている住民の皆さんに、町内で使える商品券1万5000円分を給付します。

▷対象者 2月1日時点で芦屋町に住民登録がある人

※ただし、2月13日㈮まで引き続き芦屋町に住民登録されている必要があります。

▷給付額 対象者1人につき1万5000円分

(商品券500円×30枚)

▷配布方法 4月初旬から順次、個人宛てに「ゆうパック」で送付します。

※配布完了まで2週間程度かかります。

※受け取りを辞退する人は、2月13日㈮までにご連絡ください。

▷使用期間 4月1日㈫～9月30日㈫

▷問い合わせ 商工観光係 (☎223-3542)

※本事業は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷問い合わせ シティプロモーション係
(☎ 223-3571)



想いをこめて、次のランナーへ

11月16日 市町村対抗「福岡駅伝」



県営筑後広域公園（筑後市）でスポーツの総合祭典「第12回市町村対抗駅伝大会2025」が開催されました。福岡県内から60市町村が参加し、それぞれの「ふるさと」の期待を背負い、1本のたすきをつなぎゴールを目指しました。芦屋町の総合順位は40位で、選手はそれぞれベストを尽くして、走り切りました。

キッズサポーター養成講座を行いました

9月3日、11月6日、26日 認知症サポーター養成講座

認知症について知り、見守る「認知症サポーター」の養成講座を町内小学生（山鹿小学校6年生：9月3日、芦屋東小学校4年生：11月6日、芦屋小学校4年生：11月26日）に行いました。受講した小学生は、「認知症の人に優しく声をかける」など、認知症の人への接し方を学んでいました。



なでしこレクダンス同好会が出場しました！

12月7日 ふくおか県芸術文化祭2025九州ブロック芸能のつどい

ユメニティのおがた（直方市）で、ふくおか県芸術文化祭北九州ブロック芸能のつどいが行われ、芦屋町から「なでしこレクダンス同好会」が出場しました。豪華な衣装と、一糸乱れぬダンスで、見ている観客の目を奪っていました。

クリスマスの贈り物

12月11日 日本モーターボート選手会福岡支部

12月24日 航空自衛隊准曹会芦屋支部

日本モーターボート選手会福岡支部から、町内6つの保育所（園）、幼稚園の園児へクリスマスプレゼントが贈られました。あしや保育園の園児たちは、来園した川上剛選手をはじめとする選手の皆さんにワクワクした様子で話かけていました。その後、お菓子を受け取り、元気よく笑顔でお礼を伝えました。

また、航空自衛隊芦屋准曹会芦屋支部から、障がい福祉サービス事業所みどり園の利用者の皆さんへクリスマスプレゼントが贈られました。みどり園の皆さんには、笑顔で感謝の気持ちを伝えました。



大地の恵みを未来へつなごう

12月7日 第58回遠賀・中間地区農業祭

多くの人に遠賀・中間地区の農産物を見て、手に取ってもらおうと、ポートレース芦屋で農業祭が行われました。生産者自慢の農産物の展示のほか、遠賀・中間地区の美味しい特産品、人気の遠賀高校パウンドケーキコーナー、農業機械展示などがプラザ内外に並び、多くの人が訪れていました。こども3人で新米をすぐった水巻町からの来場者は「お米目当てで来ました。たくさんすくえました」と笑顔で話してくれました。



誰もが生きやすい社会を作るために

12月13日 第27回芦屋町人権まつり

あしや夢リアホールで芦屋町人権まつりが開催され、演奏や踊りで賑わうふれあいイベント、青少年の主張大会、講演会が行われました。

また、ロビーでは、工作の広場や人権啓発パネル、あそびの広場などの催しもありました。青少年の主張大会では、児童・生徒8人が、「間違えを犯しても、やり直すチャンスを与えられる温かい社会にしたい」など、それぞれの思いを発表していました。講演会では、北九州市立大学准教授のアン・クレシーニさんから「多様性社会～だれもが自分らしく生きるために～」と題して講演がありました。「誰もが持っている『無意識の偏見』を減らすことでき生きやすい社会になるのではないか」と、実体験を交えながら、明るく楽しく語ってくれました。



ふるさと観光大使が大名跡を襲名！

12月14日 ふるさと観光大使 露の五郎襲名披露公演

芦屋町出身で芦屋町ふるさと観光大使でもある露の五郎さんが、あしや夢リアホールで、襲名披露公演を行いました。冒頭の貝掛町長からの開演の挨拶に、露の五郎さんも登場し、掛け合いと笑いのある挨拶となりました。公演では露の五郎さんが「トリ」を務め、会場には笑いがあふれています。まさにふるさとに錦を飾る襲名披露公演となりました。



みんなのひろば



消防フェアが行われました



手術体験



車両展示

秋の火災予防週間に伴い、11月15日に遠賀郡消防本部で「消防フェア」が行われました。当日は、400人を超える人が来場し、消防体験を通じて、火災予防の大切さを伝えることができました。次回は令和8年の秋に開催する予定です。

▽問い合わせ 遠

賀郡消防本部予
防課 (☎ 293-8125)

リサイクル家具などを 展示販売（入札方式）

中間・遠賀リサイクルプラザでは、ごみの分別収集によるごみの減量化、再資源化を行っています。その一環で、ごみに出された家具類などを再生し、展示販売を行います。



▽受付期間 2月24日火～28日水・午前9時～午後4時30分、3月1日木・午前9時～11時30分

▽日時 2月25日水～26日木・午前9時から午後8時まで（受け付けは午後7時30分まで）

▽相談会場・問い合わせ 福岡県北九州市労働者支援事務所（北九州市小倉北区浅野 ☎ 967-3945）

▽対象 中間市・遠賀郡内に住んでいる人

▽申込方法 中間・遠賀リサイクルプラザにある入札用紙に記入し、提出

▽無事故・無違反の
優良運転者を表彰します

▽対象 折尾交通安全協会会員で、5年以上または10年以上継続して無事故・無違反の人

▽申請に必要なもの
申請書、運転免許証（表・裏）と会

解雇・雇止め集中相談会

福岡県労働者支援事務所では、電話と面談による解雇・雇止め集中相談会を行います。

相談は無料、秘密厳守、労働者・使用者どちらからも相談を受け付けます。

また、相談内容により弁護士相談も連携して行います。



員証の写し、無事故・無違反証明書会窓口にあります。
※申請書類は折尾警察署・交通安全協会までに数日間を要します。早めに申請してください。

▽申請 3月2日火～31日火に、折尾交通安全協会（☎ 601-1818）へ



アッシー着ぐるみ無料貸し出し

▽対象 町内の団体・企業、公共的団体など

▽注意 町が特定の個人、政党、宗教団体を支持していると誤解が生じる場合や、雨天時の屋外では使用できません。

▽申し込み ホームページにある借用申請書をシティプロモーション係（☎ 223-3571）へ

としょかん 通信



芦屋町図書館
イメージキャラクター
よむにゃん

2月

■休館日 2日月、9日月、16日月、24日火、
26日木

芦屋町図書館
(☎ 223-3677)

開館時間

午前10時～午後6時



芦屋町図書館
ホームページ
※資料検索や
予約などが
できます。

「2026年本屋大賞ノミネート作品発表」特集

2004年に始まった本屋大賞は「全国書店員が選んだいちばん！売りたい本」として、書店員の投票で選ばれます。昨年の大賞は「カフネ」でした。本屋大賞は「汝、星のごとく」や「爆弾」など、大賞やノミネートされた作品が映画化され注目を集めています。ノミネート作品の発表は2月6日金です。4月9日木の大賞発表まで、気になる作品から読んでみませんか。



秀吉の血筋
近衛 龍春 著
実業之日本社

注目の一冊

幼くして父を失い、豊臣秀吉に庇護された備前(岡山)の戦国大名の嫡子・宇喜多秀家。豊臣政権の中枢に上りつめるも秀吉の死により運命は反転し…。宇喜多秀家、御次秀勝、豊臣秀頼ら、秀吉のこどもたちの栄光と没落の生涯を描く。

人口(前年同月との比較)

令和7年12月末日現在	令和6年12月末日現在
12,489人	12,725人
6,050人	6,188人
6,439人	6,537人
6,346世帯	6,406世帯

12月分の人の動き

出生	8人	転入	63人
死亡	15人	転出	44人

定例おはなし会

とき 出演・催し

4日木 赤ちゃんおはなし会たっち

8日木 にじの会

14日木 お話しポケット

22日木 にじの会

※時間はいずれも午前11時から

▷ところ おはなしのへや

お楽しみ上映会

▷とき 3月1日木・午後2時から(上映時間60分)

▷ところ 図書館1階多目的室

▷上映作品 「トムとジェリー 赤ちゃんはいいな」

▷内容 ねこのトムとねずみのジェリー。今日も仲良くケンカ中?!「赤ちゃんはいいな」「母をたずねて」「おかしなアヒルの子」「可愛い逃亡者」「可愛い花嫁さん」など、トムとジェリーの楽しいお話全8話。

▷定員 40人(事前申し込み先着順)

▷申し込み 2月7日木から、電話または図書館カウンターで受け付け

新着図書

【一般書】

「(アイ)

みずいらず

アフター・ユー

成瀬は都を駆け抜ける

道尾 秀介

そめい ためひと

染井 為人

いちほ 一穂

宮島 未奈

著

著

著

著

【児童書】

魔法のつららペン

ふしぎな図書館と魔物の館

あたらしいかぞく

しんしん ゆきの ふるばんに

きぼーる

山崎 ナオコーラ 作

ひろしま れいこ 作

廣嶋 玲子 作

きむら ゆういち 作

あべ 弘士 作

キボリノコンノ 作

黄葉のいちょう並木はひとときを飾り添えたり寂しき町に見やすくなるか照明照らす	麻生 清子	水落 短歌会	冬木芽のひしひし国に殉ぜし碑	時雨るるや友の記憶のうすれゆく	枯野来て裏山門の石路の花
宮崎 佐代子	後藤 征子	おしゃべりとバイキング料理のクラス会	吉住 勢津子	禅寺の火除の達磨冬の雷	浜木綿俳句会
デパートの歳暮商品飾られて見やすくなるか照明照らす	田中 勢津子	女三人時間が足りぬ	池田 幸利	小川 雪野	はまゆう
麻生 清子	吉住 勢津子	渋柿なか赤々とさびし	利枝	池田 千恵子	まゆう
後藤 征子	吉住 勢津子	村はずれ民家の大きな柿の木は	としえ	小川 雪野	まゆう
田中 勢津子	吉住 勢津子	渋柿なか赤々とさびし	としえ	池田 千恵子	まゆう
吉住 勢津子	吉住 勢津子	おしゃべりとバイキング料理の	吉住 勢津子	禅寺の火除の達磨冬の雷	まゆう
利枝	利枝	クラス会	吉住 勢津子	小川 雪野	まゆう

俳句・短歌

私たちの手で支えあいの地域をつくる



▷問い合わせ

芦屋町社会福祉協議会 (☎ 222-2866)

—芦屋町のボランティア団体 紹介シリーズ5 「めるへん」 —

町内では、「芦屋町手をつなぐリボンの会」というボランティア団体が活動しています。その中に6団体が所属しており、さまざまな分野の活動をしています。今回は「めるへん」を紹介します。

めるへん (結成して40年)

- ◆活動場所 中央公民館
- ◆活動日時 毎週水曜日
午前10時から正午
- ◆活動人数 8人
- ◆活動に込めた想い

年2回、春と秋の図書館まつりに人形劇・影絵・ペーパーサートなどで参加しています。

長い間、保育所・学童クラブ・図書館まつりなどで披露してきましたが、会員がみんな高齢になり、また新型コロナウイルスで活動休止の期間があったため、現在は図書館まつりへの参加で手いっぱいになりました。しかし、今までに作り上げた切り絵の大型紙芝居やエプロンシアターなどたくさんの宝物が使われずに残っています。これらをどうするかが今一番の問題です。



【活動レポート】

取材をした日は、影絵の練習日でした。影絵は、音声とスクリーンの下から影絵人形を動かす人、そしてプロジェクターで絵を差し替える人との息がぴったり合うことがとても大事だと分かりました。常に全員が声をかけ合いながら行われる真剣な練習があるからこそ、観る人を感動させられるのだと感じました。一方、休憩中は笑いの絶えない楽しいひと時で、練習とのギャップもこの活動が長く続いている理由の一つだと思います。



めるへんの活動に興味がある人、見学・入会をしてみたい人は、芦屋町社会福祉協議会に連絡してください。

中学生の 「税についての作文」 表彰式



昨年11月13日、芦屋中学校で中学生の「税についての作文」入賞作品表彰式がありました。これは、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が全国の中学生を対象に税についての正しい知識と理解を深めてもらうために、租税教育の一環として作文を募集したものです。

芦屋町では、芦屋町長賞を受賞した芦屋中学校3年生の鈴木莉央さん(すずきりお)が表彰されました。

えばいいのに。」友人との何気ない会話の中の一言でした。当時の私が持っていた知識なんものは、本当に些細なもので。いくつか税金の使い道を知つていたとはいえど、唯一納めることのある消費税が高く感じる程度の知識でした。しかし、学校の授業で見たある映像が私の考えに転機を与えました。力力才農園で働く兄弟、ゴミの山を漁り、売れる物を探す女の子、家族に家を追い出されたストリートチルドレンと呼ばれる子供達。衝撃でした。いずれも十八歳未満の子供なんです。授業の終わり際に先生は私達にこう言いました。「生まれた環境が違うだけなんよな」と。私はこの言葉を聞き、私の生活は、日本はすごく豊かで安定していることを改めて実感しました。私は生まられてから現在まで、当たり前のように学校へ通い、教科書を使って勉強をし、休日には整備された公園で遊び、大好きな図書館で本を読み、困ることなく生活してきました。この当たり前はどのように成り立っているのでしょうか。そうです、このような公的サービスは全て税金によって成り立っているのです。この「税金」がどのような役割を持っているのか。単純な興味とともに、これから自身の生活のあり方を考え直すきっかけにもなると思い、調べることにしました。すると、調べいく中で社会保障や教育、土地の整



未来を照らす 価値ある先行投資

芦屋町長賞受賞作文を紹介します

△問い合わせ 課税係
(☎ 2223-3534)

芦屋中学校 3年 鈴木 莉央

「税金なんてなくしてしまえばいいのに。」友人との何気ない会話の中の一言でした。当時の私が持っていた知識なんものは、本当に些細なもので。いくつか税金の使い道を知つていたとはいえど、唯一納めることのある消費税が高く感じる程度の知識でした。しかし、学校の授業で見たある映像が私の考えに転機を与えました。

改めて、私は税を納めることには意義があるとともに、大きな価値があると思います。そして、これから日本が、世界全体があるべき形であるために必要不可欠なものになるでしょう。少なくとも日本では税金によって国民の生活が豊かになつて、これまで以上に多くの税金を納めることになるでしょう。しかし、私にとって税金を納めることは未来の日本、そして世界への価値ある先行投資です。税金に対してのイメージを明るくするために、税への知識を深め、税を通じて未来を創ることに誇りをもつてみませんか。

備など、想像以上に私達の生活と密接に関わっていることを知りました。税金は国民の生活を豊かにしているのです。一方で、海外支援を行つているという記事を見つけました。詳しく述べて、アフリカやアジアなどの発展途上国に対し、税金の一部を財源として支援しているとのことでした。国民の中にはこの活動に対し、否定的な意見を持つ人もいるのですが、私はそうは思いません。とても価値のある有意義な活動である上に、国際協調の面から見てもすごく大切なことだと感じます。このような様々な税の使われ方を知り、正直全くと言つていい程関心がなかった税について、少し興味を持つようになりました。

くらしの情報

問い合わせ (市外局番093)

役場・教育委員会	223-0881(代)	山鹿公民館	223-1892
町民会館	223-0731	芦屋東公民館	222-1981
芦屋中央病院	222-2931	総合体育館	222-0181
中央公民館	222-1681	芦屋釜の里	223-5881
図書館	223-3677	芦屋歴史の里	222-2555

認知症の人や介護をしている人、

オレンジカフェに
参加しませんか

り係 (223-3533) へ

17日㈫までに2
次元コードから。



みんなで元気に
なろうや!講座

▽申し込み 2月
分測定をします)
▽持ってくるもの
筆記用具、味噌汁
(希望者に塩

▽内容 高血圧の話、減塩食の試食
▽対象 町内に住んでいる人
▽定員 15人(事前申し込み先着順)
▽参加費 無料

▽ところ 中央公民館4階

▽とき 2月24日㈫・午前10時(受け付けは9時45分から)～午後0時30分

高血圧は脳梗塞や虚血性心疾患、慢性腎臓病などの原因になります。高血圧とはどんな病気なのか、予防のためのポイントなどを学びます。



みんなで元気になろうや!講座
高血圧予防のポイント

健康・子育て

たんぽぽコーナー

2月の日曜開館日 8日・22日

❤ ぽんちゃんのにこにこ絵本

▷とき 2月2日㈪・午前11時～11時30分

❤ 豆まき (15組限定)

▷とき 2月3日㈫・午前10時～11時

※1月20日㈫から予約開始

❤ きりんパーク

▷とき 2月4日㈬・午前9時～正午

※センター内の奥のホールで体を動かして遊べますよ。

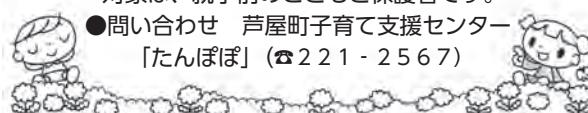
❤ 音楽DE ことばあそび (10組程度)

▷とき 2月13日㈮・午前10時～11時

▷持ってくるもの 水分補給の飲み物

※動きやすい服装で来てください。

対象は、就学前のこどもと保護者です。
●問い合わせ 芦屋町子育て支援センター
「たんぽぽ」(221-2567)



※1月30日㈮から予約開始

❤ 吉村じいちゃんと絵本マミーの絵本タイム

▷とき 2月20日㈮・午前11時～11時30分

❤ 育児相談

【栄養の話】

管理栄養士による食育の指導と進め方相談

▷とき 2月10日㈫・午前10時～11時

【たんぽぽ相談】

保健師・管理栄養士による相談

2月の相談はありませんが、気になることがあれば、気軽に電話してください。※次回3月10日㈫

みんな来てね、出前たんぽぽ広場



▷とき 2月18日㈬・午前10時～正午
※絵本やおもちゃを用意して待っています。

▷ところ 山鹿公民館 和室



地域の人や専門職の人が気軽に集い、交流を図りながら音楽を使った脳のトレーニングの体験や、専門職の人から認知症や介護に関するアドバイスを受けることもできます。

△とき 2月24日火・午前10時（受け付けは9時30分から）～11時

△ところ 中央公民館2階

△対象 認知症の人や介護をしている人など誰でも参加できます。

△内容 音楽脳トレ、座談会

△参加費 無料

△定員 10人（事前申し込み先着順）

△申し込み 2月17日火までに高齢者支援係（☎223-3536）へ



人権に関することや生活、就職、

募集・相談

人権生活相談

令和8年度児童生徒就学援助新入学学用品費の入学前支給

経済的な理由で小中学校への就学が困難な世帯（生活保護世帯は除く）に、学用品費や給食費、修学旅行費などを助成します。

このうち、入学前（3月中旬）に新入学学用品費の支給を希望する人は、次の申請期限までに申請してください。

△申請期限 2月20日金

※申請期限後も、4月末までに申請し、認定された人には1学期の就学援助費振込時（7月末～8月上旬）に新入学学用品費を含めて支給します。

△対象 世帯全員の所得などが一定の基準以下の世帯であり、次の①～④の全てを満たす人

①児童生徒が令和8年4月に町内の小中学校に入学予定の人

②就学援助の要件に該当する人

③申請時に町内に居住している人（令和8年3月末以前に町外に転出する人を除く）

④生活保護を受けていない人

※入学前支給を受けた後、転出などにより対象から外れた場合は、返還してもらいます。

△提出書類 申請書と手引きは、学校教育課窓口または、町のホームページからダウンロードできます。

△申し込み 学校教育係（☎223-3547）へ



進学などの相談に応じています。

【定例相談】

○2月5日火～土肥孝明相談員

※時間は、いずれも午後2時～4時

△ところ 芦屋東公民館

【定例日以外】直接、相談員に連絡してください。

△任期 7月20日～令和11年7月19日（3年間）

○橋本相談員（幸町8番18号☎223-3203）

○土肥相談員（浜口町4番12号☎222-0044）

△申し込み 2月2日月から、庶務係（☎223-3572）へ

農業委員募集

芦屋町農業委員会では、現職の委員が7月19日に任期満了を迎えるため、新たに委員を募集します。

△任期 7月20日～令和11年7月19日（3年間）

△募集人数 8人

※農業委員の年齢、性別などに著しい偏りが生じないよう配慮します。

△業務内容

●農地法の許認可や違反転用の早期発見

●担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進などに伴う現地調査、指導やパトロール

△対象 農業者からの相談対応と助言指導の推進や農業委員会に関する業務などを適切に行える人

△募集方法 推薦または自薦

△申し込み 2月2日月～27日金に農林水産係（☎223-3544）へ

※詳しくは、町のホームページを見てください。

※係争中の案件や刑事事件に関する相談、同一・同種の案件の反復的・継続的な相談は受け付けていません。



町ホームページ



お知らせ

11月、翌2月）医療費通知を発行しています。

緊急通報システム（装置）を利用しませんか

急病や健康相談などが必要なとき、受信センターに通報できる装置を貸与します。受信センターは必要に応じ消防署などに連絡を行います。

▽対象 緊急の通報に困難を抱えるおおむね65歳以上の発作的な持病などがある一人暮らし高齢者や寝たきりの高齢者・重度身体障がい者で、固定電話を設置している人

▽料金 世帯の課税状況によります。月額使用料（生活保護世帯0円、非課税世帯200円、課税世帯500円）

▽利用手続 役場に申し込み後、利用者の世帯状況や身体状況などを調査したうえで、貸出の可否を決定します。

要介護認定で障害者控除が適用される場合があります

▽申し込み 高齢者支援係（☎ 233-3536）へ

令和7年8月～11月診療分の医療費通知の発送は、2月中旬です。被保険者本人の住所（送付先変更を行っている場合を除く）に庄着はがきを送付します。

※通知作成日時点で亡くなっている人の通知は送付されません。

※医療機関からの情報受け渡しのタイミングにより、本通知に掲載されていないことがあります。医療費控除の明細書として使用する場合は、領収書などを追加してください。

※郵便の事情により、手元に届くまで発送から1週間ほどかかる場合があります。

▽問い合わせ 保険年金係（☎ 233-3532）または、福岡県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター（☎ 092-651-3111）

後期高齢者医療加入者に医療費通知を送付します

福岡県後期高齢者医療広域連合では、健康や医療に対する認識を深めてもらうために、年3回（7月、

身体障害者手帳や精神障害者保

3月6日金から芦屋町テレビ受信料補助金の補助申請受け付けを開始します

▷問い合わせ 庶務係（☎ 223-3572）

町内でNHK受信契約を行っていて、令和7年度分（7年4月～8年3月分）の受信料を支払った人（世帯または事業所）のうち、防衛省からの半額助成を受けていない人に地上契約分の半額相当を補助します（対象世帯には3月初旬に申請書を送付する予定です）。

申請手続きには必ず「対象期間のNHK受信料の領収証」が必要です。領収証がない場合は、再発行をNHKに直接依頼してください。

領収証の再発行方法

NHKに電話をして領収証の再発行を依頼します

電話で「令和7年4月から令和8年3月までの領収証の再発行をお願いします」と伝えるとスムーズです

NHKから郵送で領収証（支払証明書）が届きます



町ホームページ

※3月ごろは、NHKの電話窓口が大変混み合うため、早めの準備をお願いします。

▷領収証の発行・受信料に関する問い合わせ（支払い方法により問い合わせ先が異なります。）

支払い方法	問い合わせ先	電話番号
・口座振替払い	NHK ふれあいセンター	☎ 0570-077-077（ナビダイヤル） または☎ 050-3786-5003 午前9時～午後6時（土日祝日も受け付け）
・クレジットカード払い ・団体一括払い ・継続振込用紙払い ・そのほかの支払い	NHK 北九州放送局 経営管理企画センター	☎ 591-5020 午前10時～午後5時（平日のみ）

お知らせ

芦屋釜の里鑄物講座 「錫の古印作り」

オリジナルの錫製の古印を作ります
す（桐箱付き）。

△とき 3月7日土・午前10時～11時30分

△ところ 芦屋釜の里

△対象 小学3年生以上（小学4年生まで保護者同伴）

△定員 15人（事前申し込み先着順）

△参加費 大人1500円、高校生以下1300円（入館料を含む）

△申し込み 2月21日土～28日土

の午前9時30分～午後5時に芦屋釜の里（☎ 223-5881）へ

※平日の月曜日は休館です。月曜祝休日の場合は翌平日が休館です。

芦屋釜の里イベント情報

①梅見特別呈茶

梅の花咲く庭園の風情を楽しみながら抹茶を一服いかがですか。

△とき 2月7日土～8日～午前10時～午後4時30分受け付け

△ところ 芦屋釜の里大茶室

△内容 大茶室での呈茶（和菓子と抹茶）

※お点前はありません。

②抹茶飲み比べ呈茶

宇治抹茶と福岡県産の抹茶の飲み比べをお楽しみください。

△とき 2月22日土～23日月・午前9時30分～午後4時30分受け付け

△ところ 芦屋釜の里立礼席

△内容 立礼席での呈茶（和菓子と抹茶2服）

※お点前はありません。

③ひなまつり茶会

早春の清々しい季節にひなまつり茶会を行います。大人もこどもも楽しめる茶会です。気軽に参加してください。

△とき 3月1日土・午前10時～午後3時受け付け

△ところ 芦屋釜の里大茶室

△内容 抹茶とひなまつりの和菓子による茶会

△料金 18歳以上700円、小・中・高校生400円（入館料とお茶代）、未就学児300円（お茶代）

△内容 春の宵、さくらコンサートin芦屋釜の里

消費者ホットニュース

テレビショッピングは広告だけでなく注文の電話でも確認が必要です！

<事例1>

テレビを見ていて健康食品を試したいと思い、注文の電話をした。なかなか電話が繋がらず、やっと繋がった嬉しさと安堵感で、注文を受け付ける人が早口で何か言っていたが、うわの空で聞き、「はい」「はい」と生返事をした。届いた健康食品は一回限りの商品ではなく定期購入だった。

（70歳代 女性）

<事例2>

テレビショッピングでネックレスが欲しくなり、注文した。届いたネックレスはテレビで見たものとは違い、安っぽく気に入らない。返品しようと電話をしたが返品を断られてしまった。

（50歳代 女性）

<注意>

●販売条件の説明を聞き逃していることが多く発

生しています。定期購入か否か確認が必要です。

●電話口で新たな勧誘を受けることがあります。

その意思がない場合は、きっぱりと断りましょう。

●電話で新たに勧誘された契約はクーリング・オフが可能です。

●テレビショッピングは実物を確認して購入することができません。そのため、「イメージが違う」と申し出ても相手の事業者から「イメージ違いは返品の要件ではない」と断られてしまうことがあります。

●返品の可否や条件を注文時に確認しましょう。

△問い合わせ 芦屋町消費生活相談窓口

（☎ 223-3543）※環境住宅課内

アップも行います。また、芦屋歴史の里も開館時間を延長します。

△とき 3月27日金～28日土

【コンサート】第1回＝午後6時～6時45分、第2回＝午後7時40分～8時25分

▽演奏 蒲原 史子さん（声楽）、

日高 美佐さん（ピアノ）

▽曲目 「さくらさくら（日本古謡）」「花（瀧 廉太郎）」「春（グリーフ）」ほか

▽対象 小学生以上（小中学生は保護者同伴）

▽定員 各回60人（事前申し込み先着順）

▽料金 大人・こどもとも1人2100円（芦屋釜の里入館料・呈茶料・芦屋歴史の里入館料を含む）

▽申込期間 2月21日土から

※予約は一度に4人までできます。
※畳に座っての鑑賞となります。

※いすが必要な場合は予約時に伝えてください。

【芦屋歴史の里】午後9時まで開館

▽申し込み・問い合わせ 午前9時30分～午後5時に芦屋釜の里（☎223-5881）へ

※①②③は事前申込不要④＝要予約
※平日の月曜日は休館です。月曜祝休日の場合は翌平日が休館です。

マイナンバーカードの休日窓口を開設します



平日役場開庁時に、マイナンバーカードの受け取りや申請ができない人のために、次の日程で休日窓口を開設します。

※急きょ中止になる場合は、ホームページに掲載します。

△とき 2月28日土・午前8時30分～正午

△ところ 住民課窓口

△持ってくるもの

【申請】申請書（ない場合は役場で交付）、申請書貼付写真（ない場合は申請時に無料で撮影）、通知カード、本人確認書類、住民基本台帳カード（持っている人のみ）

【受け取り】交付通知書、通知カード、本人確認書類、住民基本台帳カード（持っている人のみ）

※本人確認書類は、公的機関が発行した免許証などの顔写真付きは1点、健康保険証などの顔写真がないものは2点必要です。

※手続きは本人のみできます。

※証明書の発行や転入・転出の異動の受け付けなどは行いません。

△問い合わせ 住民係（☎223-3531）



マイナンバーカード
休日窓口
ホームページ

防災無線の訓練放送

Jアラートを活用した全国一斉の情報伝達訓練が行われます。訓練当日は、戸別受信機や防災行政無線による訓練放送が流れます。

※実際の災害と間違えないよう、注意してください。

△とき 2月6日金・午前11時ごろ

※予備日 2月20日金・午前11時ごろ

△放送内容

♪ 上りチャイム音 ♪

「これは、Jアラートのテストです」×3回

「こちらは、芦屋町です」

♪ 下りチャイム音 ♪

△問い合わせ 庶務係（☎223-3572）

テレビの
dボタン広報誌で
まちの情報が
見られる！



お知らせ

芦屋歴史の里企画展示

映画「ラ・ラ・ラ・ラ・ラ」

屋口ケの思し出

第二次世界大戦の真珠湾攻撃を描いた映画「トラ・トラ・トラ！」は、

芦屋海岸に製作された巨大なオーナメントで撮影が行われました。当時を再現したジオラマをとおし、その様子を振り返ります。

午前9時30分～午後5時
△料金 18歳以上200円、小・中：
△ところ 芦屋歴史の里

▽問い合わせ 芦屋歴史の里（☎ 高校生100円）

222 - 2555

中央公民館講座

■芦屋基地を見て回ろう



や施設などを見学し、部隊担当者から詳しく説明してもらいます。少人数なので、ゆっくりと見学することができます。なお、都合により講座が中止になることがあります。

ります。 ▽とき 2月25日㈭・午前10時～ 正午

▽ところ 航空自衛隊芦屋基地

▽講師 芦屋基地の隊員の皆さん

▽定員 24人（事前申し込み先着順）
(高校生以下は参加できません。)

小中学生・乳幼児の同伴はできません。)

▽参加費 無料

▽申し込み 1月29日㈭～2月15日㈰・午前9時～午後5時に電話（☎ 222-1681）または中央公民館窓口へ

※月曜日は休館です。

■あなたならどうする？

↙クロスロードゲームで考える
多样性)

メディアやSNSなどで当たり前のようを使われている「多様性（ダイバーシティ）」ですが、日本は世界と比べて理解や推進が遅れているのが現状です。この講座では、育児や介護、障がいなどの身近な場面の多様性を、ゲーム体験をして具体的に考えていきます。

▽とき 2月14日㈯・午前9時30分～11時30分

▽ところ 中央公民館

▽講師 オフィス荒武代表
荒武勢津子さん

▽定員 30人（事前申し込み先着順）

▽ 参加費 無料

▽ 申し込み 1月27日火から・午前9時～午後5時に電話（☎ 222-1681）または中央公民館窓口へ

※月曜日は休館です。

**ギャラリーあしやワーキョップ
粘土でスイーツ講座Ⅱ**

粘土でかわいいアイスパフェを作る講座です。ソースで顔を描いたり、ホイップやいろいろなパーツでデコレーションします。できた作品はストラップにして持ち帰ることができます。

▽ とき 2月21日土・午後1時～3時

▽ ところ 中央公民館3階

▽ 対象 小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）

▽ 定員 10人（事前申し込み先着順）

▽ 参加費 300円（材料代）

▽ 申し込み 1月31日土～2月13日金・午前9時～午後5時に電話（☎ 222-1681）または中央公民館窓口へ

※月曜日は休館です。

※一度の申し込みで、最大2人まで参加できます。

広告

シニア世代の皆さまへ

日頃のご愛顧に感謝をこめて・・・

特別金利の
定期預金実施中!!

詳しくは、店頭またはお電話でお問い合わせください

九州ろうきん 直方支店
0949-24-1717

九州ろうきん 直方支店
0949-24-1717

カラスに注意してください！

カラスは3月～4月頃に巣作りを始め、繁殖期は3月～6月半ばまで続き、ひなは9月頃に巣立ちます。生ごみ散乱や威嚇、ふん被害を防止するため、ご協力をお願いします。

①巣を作らせない

ハンガーや針金、ひもなどはカラスの巣材となるため、屋外に放置しないようにしてください。

また、木の剪定を行うことで巣を作らせないようにすることができます。



②カラスの巣やひなに近づかないで

カラスは、巣やひなに近づくと後ろから威嚇する習性があります。

親鳥の動きに注意し、その場から離れてください。

③ごみ出し時のお願い

ごみは決まった日時・場所に出し、防鳥ネットなどでごみをしっかりと覆ってください。また、ネットに重石などを置き、めくれないようにしてください。



④知らずにしている餌付けをなくす

何でも食べるカラスにとって家庭菜園やお供え物は、餌となります。

無意識の餌付け（放置した野菜くずやお供え物、家庭菜園の取り残し果実など）になつてないかカラスの目線でチェックしてみてください。

⑤カラス対策は「慣れ」を防ぐことが重要

防鳥テープや爆音器、カラスの死骸模型、黒ビニールなどは、一時的には効果を発揮しますが、カラスはすぐに慣れてしまいます。「慣れ」を防ぐため、道具を複合的に組み合わせ、効かなくなつたら片付け、別の道具を設置するなどの対策を行ってください。

▷問い合わせ

カラスのごみ被害に関すること＝環境・公園係（☎ 223-3538）

そのほかカラスの被害に関すること＝農林水産係（☎ 223-3544）

みんなのねんきん

▷問い合わせ 八幡年金事務所（☎ 631-7962）
保険年金係（☎ 223-3532）

お得な国民年金保険料前納割引制度

国民年金保険料の口座振替には、月々60円割引となる早割制度（当月保険料を当月末振り替え）や割引額の多い6ヶ月・1年・2年前納など、お得に保険料を納付できる振替方法があります。

▷申込方法

本人確認書類または基礎年金番号が分かるもの、通帳、金融機関届出印を持参し、八幡年金事務所または保険年金係で手続きをしてください。

※マイナポータルから「ねんきんネット」にログインし、オンラインで申し込むこともできます。

広告

個別+通り放題受講

月額定額制



「AIシステム学習による繰り返し学習」+「自立学習」により、1人ひとりに合ったプログラム学習で、わかるまで個別指導をします。

高校生、中学生、小学生の体験予約をお待ちしております。

小中高5教科／受験 英検・文字検／通信制サポート校

松陰塾 遠賀川駅前校

〒811-4307 遠賀町遠賀川1丁目6-5 PIPIT2階
☎ 093-863-2905／受付時間 平日10:00～21:00



ご存じですか？

B型肝炎給付金

B型肝炎ウイルスに感染している

昭和16年7月2日～昭和63年1月27日生まれ

上記2つとも当てはまる方は、症状に応じた額の給付金を国から受け取れる可能性があります。また、上記の対象者から母子感染した方や、ご遺族（相続人）も受け取れる可能性があります。お電話でお気軽にご相談ください。

無料 電話相談 0120-918-862

受付 平日
9時～17時半

東京弁護士会所属／弁護士法人マイタウン法律事務所
【マイタウン法律事務所 東京事務所】
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビルディング 6階



広告

差別をなくすために 第488号

「おじいちゃんと私たちの大切な時間」

私の祖父は、車いすで生活をしています。体が不自由ですが、いつも私たちにやさしく笑いかけてくれる、家族みんなの大切な存在です。

私は毎日祖父の家に帰ります。中学三年生のいとこ、中学二年生の姉といとこ、小学六年生の私といとこ、小学三年生の妹。みんなでご飯を食べて一日の事を話したり、にぎやかで楽しい毎日をすごしています。

ある日、祖父が急に苦しそうな顔をして体調をくずしてしまい、救急車で病院に運ばれました。私たちはびっくりして、こわくて、不安でいっぱいでした。私たちは、お母さんの車に乗って、みんなで病院に向かいました。車の中ではとても静かで心配な気持ちでいっぱいでした。でもその時、いつもふざけていりとこのお兄ちゃんが、「大丈夫。絶対大丈夫。」と言ってくれました。その声はとても強くて、私たちみんなに勇気をくれました。

後から思い出すと、いとこのお兄ちゃんもすごく不安だったと思います。でも私たちや

芦屋町人権・同和教育研究協議会

▷問い合わせ 社会教育係 (☎ 223-3546)

芦屋東小学校6年 とくだみのり 德田 実莉

家族を元気づけるために、強くなろうしてくれたと思います。そのすがたを見て、私は家族の大切さと支え合うことの意味を学びました。

祖父が元気にもどってきた時、私たちいとこ全員でもっと祖父と過ごす時間を大切にしようねと約束しました。私たちはいつも仲良しで、支え合いながら笑顔で過ごしています。家族みんなの気持ちが祖父の力になっていると感じます。

私はこれからも、祖父や家族との時間を大切にして、だれにでもやさしくできる人になりたいです。そして、だれもが安心して暮らせるあたたかい社会を作るために、努力していきたいと思います。

※この記事は、町内の小中学生が「人権」をテーマに作成した作文で、提出された作文の中から芦屋町人権・同和教育研究協議会が選考したものを掲載しています。

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況を公表します

芦屋町情報公開条例第14条（運用状況の公表）と芦屋町個人情報保護法施行条例第13条（施行の状況の公表）に基づき、公文書の公開請求、個人情報の開示などの請求とその結果を公表します。

●令和6年度情報公開状況

受付場所	総務課	議会事務局	農業委員会
公開	3件	0件	0件
一部公開	10件	1件	0件
非公開	2件	0件	1件
合計	15件	1件	1件

●情報公開審査請求件数 0件

●令和6年度個人情報開示請求件数 0件

●個人情報開示審査請求件数 0件

▷問い合わせ 庶務係 (☎ 223-3572)

夜間飛行訓練を行います

平日昼間の訓練に加えて、次の日程で夜間飛行訓練を行います。

【ジェット機】

▷とき 2月16日㈪・17日㈫の日没～午後9時ごろ

(予備日=18日㈫・19日㈬)

【救難ヘリコプター・救難捜索機】

▷とき 毎週㈪・㈫の日没～午後9時ごろ

※天候不良の場合㈫・㈬・㈮が予備日です。

【そのほか】

佐賀駐屯地のV-22オスプレイが夜間飛行訓練で芦屋基地へ飛来することがあります。

▷問い合わせ 航空自衛隊芦屋基地涉外室 (☎ 223-0981内線254)

芦屋歴史紀行 その三百五十七

芦屋歴史の里 新たな収蔵資料

芦屋歴史の里の収蔵品のほとんどが地域の皆さんからの寄贈によるものです。令和7年度も寄贈いただき、新たに資料を収蔵しました。今回から2回に分けて、令和7年度中に新収蔵した資料を紹介します。

●岡の湊（書籍）

本書は、昭和2（1927）年に

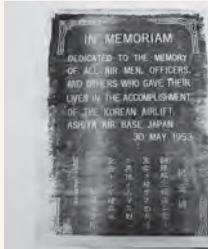


芦屋教育会によって発行された芦屋の名勝や寺社、芦屋に伝わる伝説、芦屋町の偉人などを紹介した冊子。昭和初期の、芦屋の歴史文化の様子がよくわかる1冊です。

●朝鮮戦争記念碑拓本

芦屋基地内にある朝鮮戦争の記念碑の拓本です。

朝鮮戦争勃発時、アメリカ軍が駐留していた芦屋基地は、約70万トンに



も上る物資の輸送拠点になります。記念碑は、航空輸送に生命をささげた将兵たちのために、昭和28（1953）年に建てられたものです。

●西部炭田名士選集

本書は、昭和11（1936）年に発行された、



筑豊炭田地域における石炭関連企業や石炭産業の重要人物などを紹介したものです。芦屋町出身で衆議院議員となつた吉田磧吉氏や、その子吉田敬太郎氏の記事が掲載されています。また、日本鉱業株式会社のページには、大君炭鉱に関する記載がありました。当時の石炭産業の一端を知る貴重な書籍です。

●「トラ・トラ・トラ！」撮影セツト模型

映画「トラ・トラ・トラ！」は、太平洋戦争における真珠湾攻撃を描いたアメリカ映画です。本作の日本ロケが、昭和42（1967）年に芦

▼今号の表紙は自治区（高浜町）の餅つきです。参加していた大人たちの楽しそうな掛け声とは裏腹に、こどもたちからは、「きつい！重い！」との声が…。しかし、つき終えたこどもたちはとても楽しそうでした。大人もこどももみんな笑顔で、地域の人たちとの交流も良いものだなと改めて感じました。自治区の活動に取材でお邪魔することはなかなかありませんが、伺う時は温かく迎えてもらえると、とてもうれしいです。（伊藤）



屋町の海岸で行われました。当時、ロケを見に行ったという記憶がある人も多いのではないか。この模型は、芦屋で行われた撮影セットをリアルに再現した模型です。この模型は、2月10日~~火~~から芦屋歴史の里企画展示「映画『トラ・トラ・トラ！』芦屋ロケの思い出」の中で展示します。

（芦屋歴史の里）

▼今号の表紙は自治区（高浜町）の餅つきです。参加していた大人たちの楽しそうな掛け声とは裏腹に、こどもたちからは、「きつい！重い！」との声が…。しかし、つき終えたこどもたちはとても楽しそうでした。大人もこどももみんな笑顔で、地域の人たちとの交流も良いものだなと改めて感じました。自治区の活動に取材でお邪魔することはなかなかありませんが、伺う時は温かく迎えてもらえると、とてもうれしいです。（伊藤）

▼今号裏表紙に掲載しているKBCふるさと Wishですが、令和7年11月3日から9日の1週間放送され、その風景を写真に収めています。KBCのリポーターがさまざまな場所を訪れて、町の魅力をたっぷりと紹介してくれました。私も現地で見ていましたが、それぞれのリポーターの個性に関心を持ったのと、インタビューされる芦屋町の人の話の上手さに驚きました。来年も実施される場合、広報あしやでお知らせしますので、楽しみにしていてください。（篠塚）

編集後記



町の魅力をたっぷり KBC ふるさと Wish 芦屋町

KBC九州朝日放送のテレビとラジオから、芦屋町の魅力をギューッとまとめた「ふるさとWish」が令和7年11月3日～9日の1週間で放送されました。多くのリポーターが芦屋町をアイタカー（中継車）でまわり、旬な情報を電波に乗せて届けていました。皆さん、新しい情報は手にはいりましたか。
(放送された番組と出演者の一部を掲載しています)



2月 Happy Birthday



露夢君生れてきてくれてありがとうございます！家族皆、露夢が大好きだよ。沢山食べて大きくなって誰からも愛される人生になりますように・・・